

大田垣蓮月 （蓮月） 歌人。寛政二年一月八日京都生れ、明治八年十一月十日没（二七九—二八五）。本名誠。藤室家の出と曰ふ。大田垣氏の養女となり、一度迎へた夫と死別し子も夭逝。文政六年剃髪し、蓮月焼と稱せられた陶器を作つた。歌は小澤蘆庵に私淑。

著書 『蓮月』、『女和歌集』（小田垣蓮月名、高島式部合著、明治八年十月）

『二月金屏常應板、京都・錦屋二郎兵衛刊。再刊『蓮月式部』、『女和歌集』

『宮崎璋藏校訂、大正二年十一月十八日珍書會「賞荷樓叢書」）、

歌集『海人の刈藻』（同、明治二年四月富岡氏藏、京都・二葉堂）、

『明治公歌選』（合著・大町五城編、大正二年四月一日大日本歌道奨

勵會）、『蓮月尼歌集』全二冊（大正七年六月）二十日京都・細川開益

堂）、『蓮月尼歌集』（村上素道編、大正十五年六月十五日京都・蓮

月尼全集刊行會）、『蓮の月影（蓮月歌抄）』（昭和八年二月五日興

田止造編輯）等。

文獻、湯木喜作著『蓮月・元義・翠庵』（昭和七年十一月）二十日台帝

書房「水鏡叢書」）、成瀬慶子著『寂光の人蓮月』（昭和十年四月十

日春秋社「春秋文庫」）、蓮清文範著『（水鏡）蓮月尼』（昭和十一年

五月十五日大東出版社）、相馬瀧風著『貞心と千代と蓮月』（昭和十

四年四月二十日春秋社）、近江満子著『蓮月尼』（昭和十六年八月一

十五日大東出版社）、成瀬慶子著『大田垣蓮月』（昭和十八年二月一

十五日同文館出版部）、吉井眞著『戲曲『蓮月』（昭和十八年十一月

十日京都・大雅堂）、成瀬慶子著『蓮月尼』（昭和四十六年八月八日

同成社）等。